



「ふるさと祭り東京」で三陸・常磐の魅力発信！



「ごひいき！三陸常磐キャンペーン」は、三陸・常磐の海産物の魅力を今以上に広く伝えるためのプロジェクトで、経済産業省が中心となって実施しています。東京ドーム（東京都文京区）で2023年1月13、22日に開催された日本全国のお祭りやグルメが楽しめる「ふるさと祭り東京」にも、「ごひいき！」として4団体がブース出展しました。イベント2日目には、スペシャルゲストが多数登場して来場者に海産物のおいしさを直接アピールし、盛況を博しました。

今回は昨年10月実施のよみうりランド（東京都稲城市・川崎市）に続く第2弾で、東京ドームに延べ30万人以上の「ご当地モノ好き」が集まる国内有数のグルメイベントに出展することができました。

2日目のトークショー冒頭では、西村康稔経済産業大臣が登壇。本年春から夏頃と見込むALPS処理水の海洋放出についても触れ、「海洋放出にあたっては、安全基準を十分に満たし、安全性をしっかりと確保する」とし、風評影響の懸念や不安を払拭すべく、テレビCM等による広報の取組等も紹介しました。そのうえで、三陸・常磐の食品が生産者の努力で高い品質を保っていることを強調し、「これからも楽しいイベントをたくさんお届けしますので、どうぞ三陸・常磐の「ごひいき」になってください」と、復興・発展に向けた強い思いを届けました。

宮城の力キは、これから春先に向けてよりおいしくなるそうです。宮城県漁業協同組合の「カキフライ」を試した酒井さんは「火を通した状態でも、身のクリーミーさが活きている」と感激し、「うまさかい（酒井）」と締めました。



▲西村康稔経済産業大臣

西村経済産業大臣が魅力を熱弁

「ごひいき！三陸常磐キャンペーン」は、三陸・常磐の海産物の魅力を今以上に広く伝えるためのプロジェクトで、経済産業省が中心となって実施しています。東京ドーム（東京都文京区）で2023年1月13、22日に開催された日本全国のお祭りやグルメが楽しめる「ふるさと祭り東京」にも、「ごひいき！」として4団体がブース出展しました。イベント2日目には、スペシャルゲストが多数登場して来場者に海産物のおいしさを直接アピールし、盛況を博しました。



▲いかポッカ焼き（岩手） ▲アベホタテ焼き（青森）

青森県漁業協同組合連合会がおすすめする「アベホタテ焼き」は、素材そのものの味をバターで活かしました。太田副大臣は「身がぷりぷりとしていて、味が濃い！これはうまおた（太田）」と、酒井さん意識したコメントで会場を沸かせました。

いわて銀河フーズ（岩手県産株式会社）の「いかポッカ焼き」は、新鮮なスルメイカを特製のたれで漬けて、焼いた郷土料理です。グルメな平子さんも「イカってこんなにおいしいの？柔らかいし、味付けがすごい」と驚いていました。

グラウンドのイベント会場はほぼ満席になり、スタンドにも観客が集まるなど、大盛況。登壇者たちの食リポの効果か、終了後は大勢の人が「ごひいき！」のブースへと向かっていました。

自然環境が大きく変化する中、私たちはいま、質の高い海の幸を安定して生産できる養殖水産に力を入れています。ステージで紹介したカキ、ホタテなどもたくさんとれるよ



宮城県漁業協同組合 立花 洋之 常務理事

〈出展者の声〉

ふるさと祭りの会期中は、東京ドームのグラウンド部分がイベント会場になり、数多くの食べ歩き屋台が立ち並びました。「ごひいき」で出展したのは青森県漁業協同組合連合会「いわて銀河フーズ（岩手県産株式会社）」宮城県漁業協同組合「福島県漁業協同組合連合会」の4団体です。各ブースでは法被を着たスタッフが笑顔で呼び込みやチラシ配りをし、自慢の産品を手軽に食べ歩きできるよう調理した海産物や、冷凍のお土産などを販売。多くの来場者は足を止めて試食を楽しみそのまま購入していました。



青森県漁業協同組合連合会 熊木 正徳 専務理事

うになりました。現地では大人向けの養殖漁業体験ツアーも催されているので、ぜひ自然の力を直接感じながら、海の幸を味わってみてくださいね。



▲カキフライ（宮城） ▲メヒカリの唐揚げ（福島）

福島県の沖合いは冷たい「親潮」と暖かい「黒潮」が交じりあう「潮目の海」です。餌となるプランクトンが大量に発生し、ここで育った、栄養たっぷりの品質の良いお魚は「常磐もの」と呼ばれ、魚種は約200種類。ぜひ「常磐もの」のおいしさを感じてもらえればありがたいです。常磐もの「旬」の魚。地元でしか味わえないものもあるのです。自然豊かで、フルーツ、お米、お酒もおいしい福島にぜひ、お出かけください！



福島県漁業協同組合連合会 鈴木 哲二 専務理事

ステージの後は、アルコ&ピースが「ごひいき！三陸常磐」ブースに登場。集まったファンの声援に応えつつ、出展者たちとの会話を楽しんでいました。訪れたそれぞれのブースで熱烈な歓迎を受けた二人は、地元の産品をPRするため東京を訪れたスタッフたちに対し、地元の絆を感じるエールを贈っていました。



▲試食をするアルコ&ピース

Instagram公式アカウントで
三陸常磐の「ごひいき！」情報を発信中！
今すぐフォロー
@gohiiki_sanrikujoban
三陸常磐の美味しい海の幸の情報満載！

食べて、知って、三陸・常磐の「ごひいき」になって！

ごひいき！三陸常磐キャンペーン

“GOHIKI” SANRIKU JOBAN CAMPAIGN

gohiki-campaign.com

三陸常磐 ごひいき

主催：「ごひいき！三陸常磐キャンペーン」実行委員会